

古紙リサイクルについて

営業部 伊奈

お世話になっております。リサイクルクリーンの伊奈です。本日は古紙(雑紙)のリサイクルについて触れていこうと思います。

そもそも紙とは元をたどればすべて木材(パルプ用材)です。不要になった紙を安易に捨ててしまっている行動が貴重な森林資源を浪費してしまっているともとらえられます。そんな中巷でも最近よく耳にし、もちろん弊社でも取り組んでいる紙のリサイクルは、一度使用された古紙(紙)を原料として繰り返し使うことで資源の有効活用になり、新たに投入される木材の量を抑える事で森林資源の持続可能な利用に貢献するというサイクルになります。

古紙リサイクルの中でも新聞、段ボール、雑誌、雑紙、飲料用パック等種類がありますが地方の無人の古紙回収ステーションや大型ショッピングモールなどは必ず分別をして頂くように様々な工夫がされておりますが、実はちゃんとした理由の下そのような働きをしているのはご存じでしょうか？その理由として、古紙はその品質や特徴に応じてそれぞれ異なる紙の原料に使用されるからです。例えば、新聞は新たな新聞用紙やコピー用紙を作成する原料に使用され、雑誌、雑紙は菓子類の箱や書籍、段ボール箱を作る原料に使用されています。

このように私たちの少しの意識で森林資源を守る事ができ、環境を守る事にも貢献ができます。ちりも積もれば山となる。ぜひ今日から実践していきましょう。